

The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS 2nd September 2017

1. 夏休みイベントが終了しました

7/26 一宮国際交流協会イベント参加



ダイアン吉日さんの日本語トークと英語落語。世界中を旅したダイアンさんの写真も。英語落語は日本に初めてやって来たイギリス人男性の体験を落語にしたものです。トークも落語も大笑いの2時間でした。

7/31 ナラバンダ高校とのオンラインセッション



当日時間が変更になったにもかかわらず、参加してくれた皆さんありがとう。急なトラブルもある国際交流を経験できました(?)当日は音声途切れがちではあったけれど、現地の学校の様子や雰囲気を感じることができたと思います。次回は違う学校と通信環境を向上させて行う予定です。

8/9 ウィーン少年合唱団 栗林純子さんとの座談会



留学中の苦労話、海外で仕事をするのに大切なこと、日本人とオーストリア人とのコミュニケーション方法の違い、歌でメッセージを伝えるためには…など盛りだくさんの話題について、ざっくばらんに語っていただきました。

2. 国際理解コース(2年)の行事の一部をお知らせします

国際理解コースでは、コース独自の行事を設定しています。今回は、5月に行われる、名古屋大学スタディツアーについてお伝えします。



名古屋大学には「国際開発研究科(略称GSID)」という大学院があり、多くの留学生が日本人とともに学んでいます。国際理解コースでは、この大学院を訪問し、午前中は複数の留学生とグループに分かれてディスカッション、午後は大学院生の指導を受けながら、学び得たことをまとめたり、他のグループと共有したりする一日名大スタディツアーを計画しています。ランチは名大の学食で。

また、6月の名大祭に行われる授業にも希望者が参加できます。

3. オーストラリア姉妹校の準備を進めています



現在、オーストラリアクイーンランド州にある Kirwan State High School という学校と、姉妹校提携を結ぶ準備を進めています。



姉妹校提携後、一宮西高校と Kirwan State High School の交流が始まります。詳しくは次の号で。

校長コラム「国際理解コース 私ならこんな授業をします」つづき

私は学者ではないので、比較文化学の専門家に任せようかと思ったが、先日息子の本厄のお払いに付き合ったら、祝詞の中でお払いを受ける人を紹介する時、「名古屋市中川区富田町千音寺、井中の学史」と、言われた。そう、日本では住所を言って名前を言う。それに対し西洋人は First Name から言うではないか。例えば、違う土地へ行って自己紹介をしよう、日本人なら「名古屋から来ました、井中です。」と言うと、「おお、そうですか。これ、名古屋からわざわざ来られた客人に、お茶を持って」となる。ところが、西洋では I'm John Smith from California. と言い、Hi John, Nice to Meet You. となつて、間違っても Oh, California, Welcome. ではない。相手に伝えたいのは、日本人が「名古屋から来ました」に対して西洋人は「私は John です」。西洋人が大切にする First Name は日本では【下の名前】と言われ、時に省略されたりもする。(つづく)

The Journal Of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS 2nd September 2017